



ぽっかぽか りす組



新しいお友だちや大人、環境にも慣れ、室内を自由に探索して自分で好きな玩具を選びながら遊んでいる子どもたち。
成長していく中で、だんだんと『自我』が芽生え、自分の気持ちや要求をはっきりと伝える場面も増えてきているかと思います。そんな子どもたちの気持ちを受け止めながら日々の関わりを大切にしています。今月は、生活面の中から「着脱」について保育園でどのように行っているかお伝えしたいと思います！



りす組では、おむつ替えの際や戸外遊び後にズボン（汗をかいた時にはＴシャツや肌着）の着替えをしています。最近では「自分でやりたい」と意欲を示すお子さんが多くなってきました。その意欲と気持ちを大切に、初めから大人が手伝うのではなく、自分で取り組もうとする姿を見守りながら、必要に応じて「お手伝いする？」「難しい時は教えてね」等、声を掛けながら支援をしています。

靴下 自分で靴下を持って足を入れようとしたり、大人が靴下の口を広げると足を上げて履こうとするなど、意欲的に取り組む姿が増えてきています。つま先が入ったら「ぎゅっと上にあげるよ」と声を掛けながら、かかとまでしっかり入れることを伝えています。自分で引き上げようとしたり、大人と一緒に履く練習をしたりしています。脱ぐ際も、靴下をかかとまで下すとつま先を引っ張って脱げるようになってきました。また、着脱の前後には自分のロッカーへ靴下を取りに行ったり、しまったりする姿も見られ、少しずつ習慣として身につけてきています。

ズボン ズボンを履く際には椅子に座って行います。子どもが足を入れやすいように、大人がズボンの入り口を広げて足元へ近づけると自分で足をあげて入れようとしています。また、大人と一緒に足を入れた後は声を掛けながら子どもが自分でズボンを上げるのを待ち、必要に応じて大人と一緒におしりや腰まで引き上げています。ハイハイのお子さんは大人と一緒にズボンに足を通した後、大人の肩に掴まって立つため「ズボン上げるね」等、一つ一つの動作を伝えながら大人が腰まで上げています。脱ぐ際も大人が膝まで下ろすと下に引っ張って自分で脱ごうとする子や、足首まで下すとズボンから足を抜いたりとその子に合わせた支援を行いながら、自分でできたという達成感に繋げていけるよう促しています^^



お部屋では、遊び用の帽子やズボンなどを用意し、遊びの一環として着脱の練習をしています。ズボンの履き口を広げて足を入れてみるなど少しずつ自分でも履けるようになってきました。

帽子 帽子の向きが分かるように「シワシワ（ツバの反対側）を持ってごらん」と伝えながら渡しています。自分でもって頭に乘せたり被れる子も増えてきました♪

帽子を持ち頭に入れる動作は
食事エプロンやＴシャツを着る際の
頭を入れる動作にも繋がっています。

自分で「できた」という実感がとても大切です。お家ではママ・パパに甘える時もあると思います。上手くできなくて怒ったり泣いたりする日もあるかもしれませんが、まずは自分でやろうとした意欲やそれまでの過程を褒めつつ「上手くできなく悔しかったね」等と気持ちに寄り添いながら「お手伝いする？自分でもう一回やってみる？」と、ぜひ選択肢を作って声をかけてあげてください。今後も、ご家庭と園とで様子を共有しながら、子どもの「できた」という喜びを一緒に増やしていきましょう♪

子どもの「じぶんでやりたい！」を大切にするためにも、
着脱しやすい、少し余裕のある大きさの洋服をご用意いただけると助かります。
(ピタッとしたＴシャツやスパッツ、かたい素材のズボンなどは、子ども達一人では着脱が難しいです。)
ご協力、どうぞよろしくお願い致します(^_^)♪